

今月の話題

「クズクビボソハムシ」

9月18日、幼稚園の先生方を対象に、自然観察および自然の物を使った遊びの講習を依頼され、園のすぐ近くにある水田跡の草原(くさはら)でおこなってきました。

いろいろな自然遊びをレクチャーする中で、柔らかく大きな葉っぱを使って音を出す「葉っぱ鉄砲」をクズの葉を使ってやってみました。この時期、クズの葉も大分堅くなっているので、鳴らすのがなかなか難しく、皆、悪戦苦闘しましたが、何人かは大きな音を鳴らすことができました。

このとき、クズの葉が何者かに食われたのか、穴だらけになっているのを発見しました。よく見ると、葉には「ウリハムシ」がいてこいつが食べたに違いないと思いました。ウリハムシというくらいで、ウリ科の植物を食べるのは知っていましたが、「マメ科のクズも食べるんだなあ」と、その時はさして疑問にも思わず、よく調べもしませんでした。

数日後、知り合いの昆虫写真家の尾園暁さん(ハムシハンドブックの著者)が、2016年に東京都目黒区で国内で初めて見つかった中国原産の外来種「クズクビボソハムシ」が、相模川河川敷のクズにたくさんいることをフェイスブックで報告していました。クズを食べていたのは「ウリハムシ」ではなく「クズクビボソハムシ」だったのです。ちなみに尾園さんが書かれた、ハ

ムシハンドブックの初版は2014年のもので、このときまだ、クズクビボソハムシは国内では見つかっていなかったのが、当然のことながらこのハンドブックには載っていません。

23日の広場の昆虫調査の際、緑地内のクズを確認してみたところ、ほたるの道にあるクズの葉が、葉脈を残してレース編みのように食い荒らされているのを発見し、そこに無数のクズクビボソハムシを見つけました。全く知らないうちに広場に侵入され、大繁殖しているのを見たのは、ムネアカハラビロカマキリ以来の衝撃でした。

早速、剪定ばさみで蔓(つる)を切り、この虫を捕まえようとしたところ、それまでおとなしく葉にとまっていた虫が、ものすごい勢いで動き回り、あつと言う間に飛んで散り散りに逃げていきました。それでも何匹か捕獲しチャック付きのポリ袋に入れ、事務室に持ち帰りました。その際、この虫はどこで発音するのか、「チィ、チィ、チィ…」と小さいけれどもはっきりと聞こえる音を出すことが分かりました。

現在、クズクビボソハムシは分布を拡大中のようで、東京都で発見されて以来10年もたたないうちに、相模



クズクビボソハムシ

行事報告



9/15(月・祝) きのこウォッチング～身近なきのこ入門(21人)
参加者の声 ・キノコの種類の多さにびっくりしました。特に幼虫から生えてきてるキノコを見たのは生まれて初めてでした。キノコの生命力すごい。お互い持ちつ持たれつ共生していることが本当に良くわかりました。(大人)
・いろいろな種類のキノコが採れた。でかいのとれてうれしかった。(子ども)



9/28(日) 親子で体験 魚つり (20人)
参加者の声 ・夏休みに子どもと遊びに来てから1か月ぶりに入った川の水がずいぶん冷たく感じて季節の移ろいを実感しました。エサ付けから魚がつつく感触、釣り上げた喜びを子どもが味わえたのは親として大変嬉しかったです。(大人)
・アブラハヤがつれて楽しかった。つりざおをつくれておもしろかった。(子ども)

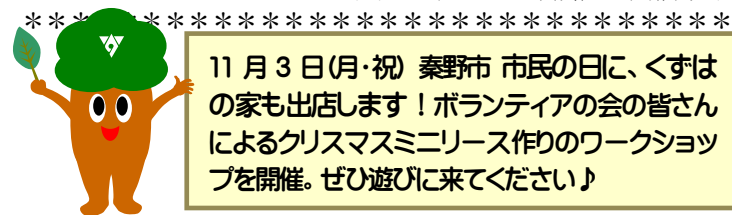
くずはの家 行事案内

場所：くずはの家及びくずはの広場			
日 時	テーマ・講 師	対象・定員	受付開始
10月25日(土) 9:30～15:00 (受付は14時まで)	秋のつどい 1日目～みんなで遊ぼう！～ まつぼっくりや竹を使った遊び、クイズラリー もりりんと森の音楽隊、など 協力：えのきの会	どなたでも ご自由に ご参加ください	当日 9:30～ 予約不要
10月26日(日) 9:30～15:00 (受付は14時まで)	秋のつどい 2日目～みんなで作ろう！～ 自然素材のクラフト、火おこし体験、秦野名水喫茶 もりりんと遊ぼう、など 協力：ボランティアの会		
11月22日(土) 9:30～11:30	冬越しの虫をさがそう ～朽ち木を割ってみよう～ えのきの会昆虫分科会・くずはの広場指導員	小学生以上30名 (小学1・2年生は 保護者同伴)	11月1日
11月29日(土) ① 9:30～12:00 ② 13:30～16:00	自然素材のクリスマスリース作り 講師：石井ふさ枝氏 協力：ボランティアの会	一般 各20名 初めての方優先 (費用：700円)	11月1日 ※経験者は 7日から受付

模川流域周辺に広がり、葛葉緑地にまで生息していることから、おそらく神奈川県全域に生息しているかもしれません。

クズを食草としている昆虫にはざっと見ただけでも、コフキゾウムシ、オジロアシナガゾウムシ、ツヤコガネ、マルカメムシ、マツムシ、クツワムシ、カンタン、つぼみを食べるウラギンシジミなどがいます。今後、クズが食害を受けて衰退していくとこの地域の昆虫相にも影響が現れるかもしれません。

文・写真：くずはの広場所長 高橋孝洋



行事へのお申し込み・お問い合わせは
電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

10月の休館日

6日、14日、15日、20日、27日

11月の休館日

4日、5日、10日、17日、

25日、26日

くずはの家HPはこちらから→

ホームページ



メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

9月の活動

定例会：1回目は、夏休み明けの久しぶりの活動。まだまだ暑い中、会員の皆さんは、落ち葉掃きや広場の草の片付け、倒木の枝葉処理、しいたけほだ木の天地返しなどたくさんの仕事を次々と片づけてくださいました。館内のスリッパもきれいに清拭しました。2回目は、猛暑日で外作業は中止かなと思いましたが、皆さん大勢来てくださり、外の作業もできました。秋のつどいのクラフトや、おまけの準備などもしていただきました。

花壇の会：9/5(金)は、雨のため中止でした。
とんぼのせせらぎ：9/25(木)は、せせらぎ沿いのセキショウを減らし、水の流れを妨げないように水路を整備しました。

☆これからの活動

定例会：10/16(木)、11/20(木)
※10月26日(日)は秋のつどい「みんなで作ろう」に会員が全面協力！自然素材の工作や、吹き矢作り、火おこし会場で皆様をお待ちしています！遊びに来てね。

花壇の会：11/7(金)、12/5(金)
とんぼのせせらぎ：10/23(木)、11/27(木)

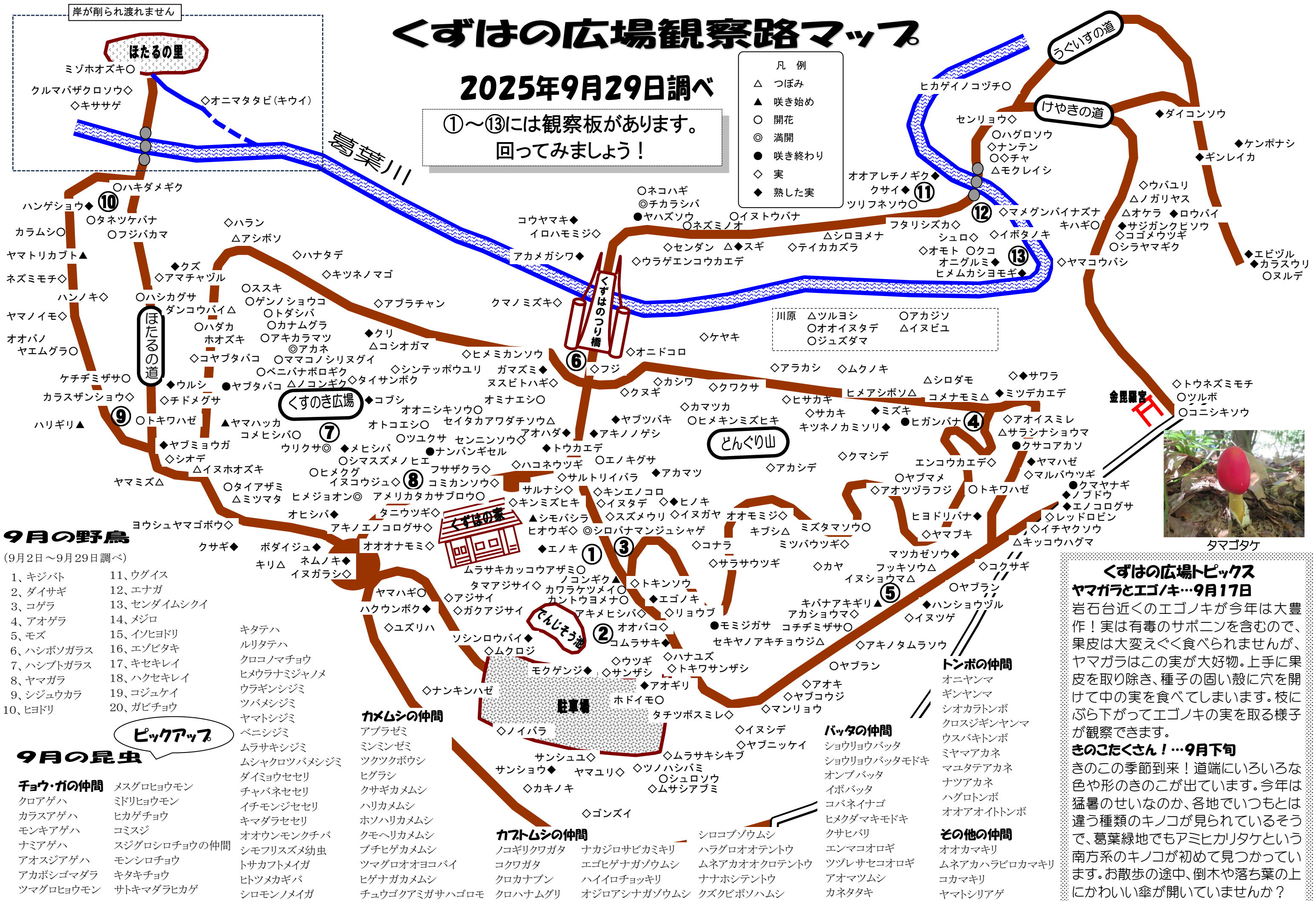


くずはの広場観察路マップ

2025年9月29日調べ

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実



9月の野鳥

(9月2日～9月29日調べ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1、キジバト | 11、ウグイス |
| 2、ダイサギ | 12、エナガ |
| 3、コゲラ | 13、センダイムシクイ |
| 4、アオゲラ | 14、メジロ |
| 5、モズ | 15、イソヒヨドリ |
| 6、ハシボソガラス | 16、エゾビタキ |
| 7、ハシブトガラス | 17、キセキレイ |
| 8、ヤマガラ | 18、ハクセキレイ |
| 9、シジュウカラ | 19、コジュケイ |
| 10、ヒヨドリ | 20、ガビチョウ |

ピックアップ

9月の昆虫

チョウ・ガの仲間

クロアゲハ
カラスアゲハ
モンキアゲハ
ナミアゲハ
アオスジアゲハ
アカボシゴマダラ
ツマグロヒョウモン

メスグロヒョウモン
ミドリヒョウモン
ヒカゲチョウ
コムシジ
スジグロシロチョウの仲間
モンシロチョウ
キタキチョウ
サトキマダラヒカゲ

キタテハ
ルリタテハ
クロコノマチョウ
ヒメウラナミジャノメ
ウラギンシジミ
ツバメシジミ
ヤマトシジミ
ベニシジミ
ムラサキシジミ
ムシヤクロツバメシジミ
ダイミョウセセリ
チャバネセセリ
イチモンジセセリ
キマダラセセリ
オオウンモンクチバ
シモフリズメ幼虫
トサカフトメイガ
ヒトツメカギバ
シロモンノメイガ

カメムシの仲間

アブラゼミ
ミンミンゼミ
ツクツクボウシ
ヒグラシ
クサギカメムシ
ハリカメムシ
ホソハリカメムシ
クモヘリカメムシ
ブチヒゲカメムシ
ツマグロオオヨコバイ
ヒゲナガカメムシ
チュウゴクアミガサハゴロモ

カブトムシの仲間

ノコギリクワガタ
コクワガタ
クロカナブン
クロハナムグリ
ナカジロサビカミキリ
エゴヒゲナガゾウムシ
ハイイロチョッキリ
オジロアシナガゾウムシ

シロコブゾウムシ

ハラグロオオテントウ
ムネアカオオクロテントウ
ナナホシテントウ
クズクビボソハムシ

バッタの仲間

ショウリョウバッタ
ショウリョウバッタモドキ
オンブバッタ
イボバッタ
コバネイナゴ
ヒメクダマキモドキ
クサヒバリ
エンマコオロギ
ツツレサセコオロギ
アオマツムシ
カネタタキ

トンボの仲間

オニヤンマ
ギンヤンマ
シオカラトンボ
クロスジギンヤンマ
ウスバキトンボ
ミヤマアカネ
マユタテアカネ
ナツアカネ
ハグロトンボ
オオアオイトトンボ

その他の仲間

オオカマキリ
ムネアカハラビロカマキリ
コカマキリ
ヤマトシリアゲ

くずはの広場トピックス

ヤマガラとエゴノキ…9月17日

岩石台近くのエゴノキが今年は大豊作！実は有毒のサポニンを含むので、果皮は大変えぐく食べられませんが、ヤマガラはこの実が大好物。上手に果皮を取り除き、種子の固い殻に穴を開けて中の実を食べてしまいます。枝にぶら下がってエゴノキの実を取る様子が観察できます。

きのこたくさん！…9月下旬

きのこの季節到来！道端にいろいろな色や形のきのこが出ています。今年は猛暑のせいなのか、各地でいつもとは違う種類のキノコが見られているそうで、葛葉緑地でもアミヒカリタケという南方系のキノコが初めて見つかっています。お散歩の途中、倒木や落ち葉の上にかわいい傘が開いていませんか？



タマゴタケ